富山大学経済学部経営学特殊講義「地域の観光資源と活用戦略」10/5質問

インフラ整備

Q　富山湾を見に行くために、電車やバスなどの交通手段はありますか？

A　富山ライトレール、地鉄バス､あいの風鉄道、万葉線などいろいろな手段があります。

Q　10年後の富山湾観光の検討に関して「民泊」はどうですか？

A　良いアイデアだと思います。

イベント開催

Q　朝日さんの4つの柱をどのようにして具体的に発信しているのか

A　朝日選手は政治家としてアプローチしているが、具体的な取り組みは「湾クラブ」が主体として取り組んでいる。

Q　ビーチバレーを通してビーチの利用を増やすという映像がありましたが、実際言実現など考えていらっしゃるのでしょうか。

A　ビーチの利用の増加のため、誰でも利用することのできる簡易コートを設置してみると良いかもしれない。

Q　私は朝日町出身なのですが、ヒスイ海岸はとっても美しい海岸だと自負しています。ヒスイを使って若い方が興味を持つような事業に取り組めばいいと思います。

A　ぜひ提案下さい

Q　富大生がイベントを企画・運営するイベントの開催などは考えておられますか？

A　期待しています。

Q　第1回の講義の中で取上げていた学生の取組みについて、湾クラブではどのような支援を行ったのか。

A　関係機関との連絡・調整などの橋渡しをしました。

情報発信

Q　富山湾の魅力を伝えるため、現在湾クラブが考えている情報発信方法は何でしょうか。

A　ホームページ、フェースブックで発信するほか、イベントについてマスコミに事前にお知らせしています。

Q　情報発信しているといいますけど、もっと多くの人に知ってもらうためにネット以外の発信は考えていますか。

A　現在はホームページのみ。しかしホームページは探した人のみにしか伝わらない。

Q　富山湾のブランド力を向上させるために、一番力を入れていることは何ですか。

A　総会やホームページなどで湾クラブの良さを発信している。

Q　美しい富山湾のロゴマークは、現在何に使用されていますでしょうか。

A　現在はホームページに使うなど湾クラブだけでしか使っていません。提案を期待しています。

Q　美しい富山湾ロゴマークはどのくらい知られているのか。

A　ほとんど知られていない。

Q　ロゴマークを知っている人はとても少なかったですが、まずは県内の認知度を上げるための方法としてどのようなことをお考えでしょうか。

A　お土産にマークを入れる、展示施設に使ってもらう、などが考えられますが行っていません。

Q　美しい富山湾ロゴマークは、現在どのくらいの施設や商品に使われているのですか。

A　残念ながらまだ使われていません。

Q　これから湾クラブの認知度、そして富山湾の魅力を発信していくにあたり、国内外問わず、参考にしたいビーチや湾の具体的な取り組みはありますか。

A　世界基準とするために、世界で最も美しい湾クラブに属している湾が参考になると思っています。

連携強化

Q　Enjoy Toyama Bay で巡る観光スポットにはどのようなものがあるか。

A　富山湾岸の観光スポットすべてが対象になります。

Q　自治体との連携はどのようにして行われているのか。今年の新湊曳山祭りは観光客が多かった。その翌日の日曜日に海王丸パークを訪れたところ、人が大勢いた。仮にそれが祭りの効果であるのであれば、観光客が増加する行事・イベントのタイミングで、富山湾に関連する拠点で「海をPRする働きかけ」があっても良いのではないかと思った。

A　加盟団体の長たちと話し合いが行われている。富山県の観光拠点は、点の状態であり、交通機関もバラバラ。それをどのように調整していくのか、各団体とのコミュニケーションが大切。場合によっては住民の方が観光資源の魅力を感じていたり、アイデアを持っていたりする。

環境保全

Q　富山の魅力は県外の人にはあまり伝わっていないので、もっと大きな行事を増やすべきではないかと思います。ゴミが増える心配はありますが、その行事を増やすと同じくクリーン活動も行えば良いのではないでしょうか。

A　海岸のゴミ処理は、大きな課題だと思います。

Q　富山湾に観光客が増える事で観光客の人が出すゴミによって汚れてしまう可能性がありますが、どのように対応しますか。

A　ボランティアでの処理には限界があるため、行政との連携が欠かせないと思います。

Q　イベントが増えるほど海岸の汚れは目立つと思いますが、美しさを維持しつつ観光地化するのは大変ではないか。

A　それを両立しなければ、観光は発展しないので、解決すべき課題です。

Q　海岸清掃活動以外に何かゴミ対策を行っていますか。

A　マイクロプラスチック対策について、勉強し始めました。

Q　10年後の富山湾観光とゴミの関係

A　イベントとゴミ拾いを同時にすることで対応出来るのでは。

Q　マイクロプラスチックへの対策は行われているのか

A　マイクロプラスチックの危険性が認められ始めたのはごく最近で、対策は遅れている。名のプラスチックの危険性も今日では指摘され始めた。

Q　クラウドファンディングなどを通じてマイクロプラスチックを取り除くロボットや活動を支援して、行政の支援を待つ前に、支援する側となるのは如何でしょうか。

A　意識の向上につながるとても良い提案だと思います。

Q　富山湾の清掃活動におけるゴミの量は。

A　把握していませんが、来年にでも取り組みたいと思っています。

Q　海浜清掃の場所や開催日時は今後もっと拡大していく予定はありますか？

A　世界で最も美しい湾クラブに加盟してから、活動が活発化していると感じます。

Q　富山湾の観光客向上と富山湾のクリーン活動や景観維持、どちらが主な目的ですか。

A　どれも達成していきたいですね。

観光政策

Q　私たちが授業で上げた提案が「美しい富山湾クラブ」の活動に反映されるのですか？

A　素晴らしい提案はぜひ具体化していきたいと思います。

Q　外国人を集客するための政策は具体的にどういったものがあるか。

A　高山が素晴らしい成果を上げていますので、学びたいと思います。

Q　今、富山空港で国外の便数は非常に少なく、外国の観光客を増やす計画などは行っているでしょうか。

A　県が考えておられるかと思います。

Q　目標である富山湾観光の人数を大体どのくらいの人数なのか。

A　私も知りたいので、観光課の講義で聞いて下さい。

Q　富山湾観光の動員について、詳しい数字を教えて下さい。（観光客数、利益など）

A　同上

Q　現段階では、どのような観光客を狙っていますか。外国人、地元、県外

A　同上

その他

Q　世界で最も美しい湾クラブの加盟基準は

A　湾は保護政策の対象。興味深い動植物が存在。地域住民にとって象徴的存在。周辺地域に経済発展の潜在性がある。

Q　世界で最も美しい湾クラブでは、どのような活動をしているのですか

A　地球環境問題への提言、クジラ問題への提言、地域活性化事例の紹介、総会の開催などを行っています。

Q　なぜ富山湾なのでしょうか。富山には他にも注目されて不思議でない観光物があると思いますが、その中から富山湾を選んだ理由が知りたいです。

A　世界でも稀有な海越しに3000m級の連峰が見える雄大な景観が評価されたためだと思います。

Q　クラブに参加登録している人は何人いるか

A　約600名

Q　富山湾クラブ入会者の年齢層は

A　年齢層は把握していませんが、子供から年寄りまで幅広く参加されています。

Q　新幹線が開通したことによって観光資源としての富山湾は何か変化がありましたか。（観光客の増加など）

A　大いに変化したと思われます。新聞では確か1.5倍？

Q　富山湾のどんなところが一番良いと思いますか？

A　何といっても雄大な景観ですね。

Q　海には、濁っている海と透き通ったきれいな海があると思うのですが、富山湾の透明度は世界的にみるとどれくらいのランクなのでしょうか。

A　川が多く上流から土砂が運ばれてくるとともに、プランクトンの沢山いる豊かな海なので、透明度は高くありません。

Q　小説「長い道」を知っていますか？

A　知りませんでしたが、映画「少年時代」の原作になった、富山の漁村に疎開してきた子供の話だそうですね。

Q　質疑応答で、最初全く手を上げなかった私たちに対して、講義をする価値や希望を少しでも感じましたか？

A　最初はそんなものです。でも世界では言ったもの勝ちですので、世界で戦っていかざるを得ない世代の皆様は、ぜひ自分の意見を主張したり、分からないことを質問したりする訓練を継続してください。

Q　ヨット部が何かお手伝いできることがあれば教えて下さい。

A　来年は体験型の講義にしたいと思います。ぜひ協力ください。また、皆さんにマリンスポーツの魅力をお伝えください。